



Tokyo Tech

平成30年7月12日

報道機関 各位

東京工業大学広報・社会連携本部長
佐藤 勲

東京工業大学 環境・社会理工学院
10年後の東京、ひとは何を着ているか？
東工大×CSMハッカソン ウェアラブル制作ワークショップ開催
後援：駐日英国大使館

東京工業大学は、ロンドン芸術大学セントラル・セントマーティンズ校(CMS)と協働し、サイエンス×アート産学実験プロジェクト「10年後の東京、ひとは何を着ているか？」を開始しました。

本プロジェクトの活動の一環として、ロンドン芸大CSMからウルリケ・オーバーラック氏(ジュエリーデザイン)とヘザー・バーネット氏(粘菌アーティスト)を迎え、ウェアラブルを「実際に作る」ハッカソンワークショップを実施します。それぞれの専門からプロジェクトにご協力いただける方歓迎です！全日出席できなくとも構いません、お気軽にご参加ください。

【概要】

日時：7月21日(土)、22日(日 希望者のみ)、24日(火)、25日(水)、26日(木)、27日(金)、28日(土)の7日間

火-金: 18:30-20:30 土日: 13:00-15:00 (現場で延長可能性あり)

会場：東京工業大学 南5-407Aワークショップルーム

デザイン工房 <https://titech-edp.github.io/access/> (日・火・木・金)

参加費：無料

参加申し込み: 下記サイトから事前登録をお願いします。

<https://goo.gl/Z2fs23>

■モデレーター、参加アーティスト

東京工業大学 環境・社会理工学院 野原佳代子教授 津田広志研究員

ロンドン芸大 CSM ウルリケ・オーバーラック氏 ヘザー・バーネット氏



野原佳代子教授



ウルリケ・オーバーラック氏



ヘザー・バーネット氏

●東工大×ロンドン芸術大学CSM産学実験プロジェクトとは？

通勤時にリュックとスニーカーという風景が普通に見られるようになりました。働きやすいウェア、高齢者や子供、障がい者をサポートするウェア、災害時に命を守るウェアなど、社会の問題を反映した、スマートな(=考える)ファッションが求められています。

「10年後の東京、ひとは何を着ているか？」

このシンプルなテーマを掲げ、生命観、最先端テクノロジー、社会課題を踏まえ、都民、エンジニアや素材開発者たちの声を取り入れて、ロンドン芸術大学CSMアーティスト/デザイナーチームとともに、全く新しい「ウェアラブル・ファッション」のデザインと提案をします。

(注1)



左：U. Oberlack博士による光のウェアラブルデザイン作品

右：光のウェアラブルワークショップ成果物

●平成29年度東京文化プログラム助成「海外発文化プロジェクト支援」に採択

本プロジェクトは、公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京の平成29年東京文化プログラム助成「海外発文化プロジェクト支援」に採択されました。(注2)

●活動計画

- ✓ 東京工業大学×ロンドン芸術大学 CSM の学際的な共同プロジェクトチームを編成し、継続的な活動を推進。
- ✓ TOKYO の社会的文脈を踏まえて新しいイメージとコミュニティづくりに寄与し、生命のあり方を問い直す次世代ウェアラブル・ファッションを考案。
- ✓ スマートテキスタイル、金属、光、人工臓器 … 数々の新素材を用い、「アート&デザイン思考」をも取り入れる。

<2018年度の活動計画予定>

| 活動 | 時期 | 内容 |
|------------------------------|---------------------|--|
| 都民とのサイエンス&アート カフェ | 2018年5～6月 | ・「10年後の東京、ひとは何を着ているか？」をテーマとしたカフェイベント や講演 |
| デザイン活動 | 2018年7～8月 | ・3名のCSMアーティスト/デザイナーと協働し、10年後、東京で求められる 「ウェアラブル・ファッション」をデザイン |
| ウェアラブル体験ファッション デモンストレーション | 2018年9月 | ・「ウェアラブル・ファッション」を発表 渋谷(予定) (映像によるプレゼンテーションの場合もある) |
| プロトタイプ制作活動 | 2018年10～ 2019年2月 | ・考案されたウェアラブルアイデアをもとに、UX(ユーザー体験)、UI(ユーザ ーインターフェース)、SD(サービスデザイン)調査を実施し、製品のプロト タイプを制作(映像によるプレゼンテーションの場合もある) |
| 公開シンポジウム | 2019年3月 予定 | ・専門家による講演とパネルディスカッション サイエンス×アートの融合の視点でファッション分野へ提言 |

本プロジェクトの理念に賛同いただける企業に、プロジェクトへの参加と支援をお願いいたします。2020年を見据え、さらにそれを超えて東京がよりクリエイティブな文化都市へステップアップするための文化的事業に貢献する貴社の広報戦略、イメージ戦略に活用いただけます。

- (注1) ロンドン芸術大学セントラル・セントマーティンズ校(CSM)は、ロンドン芸術大学(University of the Arts London)の6つのカレッジのひとつ。世界のファッションスクールランキングで1位に輝き、ジョン・ガリアーノ、ポール・スミス、ジェイムズ・ダイソンなど、数多くの有名デザイナー、アーティストを輩出してきた名門校です。
- (注2) この支援事業は、オリンピックの精神に基づき、史上最高の文化プログラムを展開するとともに、文化の面のレガシーを2020年以降に継承し、世界一の文化都市東京の実現につなげていこうとするものです。

【問い合わせ先】

東京工業大学 環境・社会理工学院 融合理工学系 野原研究室
TEL:03-5734-3521
E-mail: tokyotechxcsm@tse.ens.titech.ac.jp

【取材申込み先】

東京工業大学 広報・社会連携本部 広報・地域連携部門
TEL:03-5734-2975 FAX:03-5734-3661
E-mail: media@jim.titech.ac.jp

※ 参加をご希望の方は、別紙参加申込書でご連絡ください。

参加をご希望の場合は、お手数ですがFAXにてご連絡いただければ幸いです。

【 参加申込書（取材者専用） 】

東京工業大学 環境・社会理工学院
10年後の東京、ひとは何を着ているか？
東工大×CSMハッカソン ウェアラブル制作ワークショップ

【送付先】

東京工業大学 広報・社会連携本部 広報・地域連携部門
FAX 03-5734-3661

貴社名：

御名前：

御連絡先 TEL _____

E-mail _____